

予 算 の 概 要

1 業務の予定量

・給水戸数	343,000 戸	前年度比	+	2,000 戸	+0.6%
・年間配水量	91,778,000 m ³	前年度比	△	1,002,000 m ³	△1.1%
・年間給水量	86,822,000 m ³	前年度比	△	948,000 m ³	△1.1%
・有収率	94.6 %	前年度比		0.0 P	

2 予算規模及び予算の概要

(1) 総事業費 (単位:千円)

令和8年度 A	令和7年度 B	前年度比	
		A-B	A/B
35,750,836	30,446,579	5,304,257	117.4%

(2) 収益的収入及び支出 (単位:千円)

	令和8年度 A	令和7年度 B	前年度比	
			A-B	A/B
事業収益	21,035,367	20,958,732	76,635	100.4%
営業収益	19,357,057	19,517,462	△ 160,405	99.2%
営業外収益	1,439,942	1,431,911	8,031	100.6%
特別利益	238,368	9,359	229,009	2546.9%
事業費	19,910,442	18,577,090	1,333,352	107.2%
営業費用	18,778,870	17,380,947	1,397,923	108.0%
営業外費用	778,686	1,029,937	△ 251,251	75.6%
特別損失	347,886	161,206	186,680	215.8%
予備費	5,000	5,000	—	100.0%
差引	1,124,925	2,381,642	△ 1,256,717	47.2%
純損益(税抜)	(256,999)	(1,723,436)	(△ 1,466,437)	—

(3) 資本的収入及び支出 (単位:千円)

	令和8年度 A	令和7年度 B	前年度比	
			A-B	A/B
資本的収入	6,557,790	4,923,104	1,634,686	133.2%
企業債	3,732,000	3,479,000	253,000	107.3%
国庫補助金	410,926	451,089	△ 40,163	91.1%
出資金	—	168,000	△ 168,000	0.0%
固定資産売却代金	1	1	—	100.0%
消火栓設置負担金	81,263	76,764	4,499	105.9%
補償金	2,333,600	748,250	1,585,350	311.9%
資本的支出	15,840,394	11,869,489	3,970,905	133.5%
建設改良費	12,309,754	8,435,517	3,874,237	145.9%
企業債償還金	3,501,597	3,403,692	97,905	102.9%
国庫補助金返還金	29,043	30,280	△ 1,237	95.9%
差引	△ 9,282,604	△ 6,946,385	△ 2,336,219	133.6%

資本的収支不足額 9,282,604 千円は、

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ① 当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 | 847,242 千円 |
| ② 当年度損益勘定留保資金 | 6,066,550 千円 |
| ③ 建設改良積立金 | 2,368,812 千円 で補填する。 |

3 主な事業計画

(単位:千円)

目指す方向性	事業・取組名	事業費	取組内容
安全	水質管理体制の充実	141,463	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水質管理体制の強化 141,463 <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査機器の適切な維持管理 ・水質検査機器の計画的更新及び整備 ・水道水質の常時監視
強靱	浄配水施設の計画的更新・耐震化	3,134,638	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻浄水場施設整備事業(4カ年継続事業) 1,435,500 <ul style="list-style-type: none"> ・監視制御設備更新工事 ・受変電設備更新工事 ・送水ポンプ設備更新工事 ○ 竹尾配水場施設整備事業(4カ年継続事業) 1,116,500 <ul style="list-style-type: none"> ・構内水管更新工事 ・配水池長寿命化工事 ○ 浄配水施設の更新及び整備 515,087 <ul style="list-style-type: none"> ・水質計器設備更新工事(青山浄水場) 他 ○ 浄配水施設の改良等に係る設計業務 67,551 <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">参考 <u>浄配水施設に対する事業費 合計 3,321,597</u></p>
	管路施設の計画的更新・耐震化	7,946,400	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基幹管路更新事業 1,969,000 <ul style="list-style-type: none"> ・配水幹線の更新事業 (φ150 ～ φ900 L = 2,434 m) ○ 配水支管更新事業 1,133,000 <ul style="list-style-type: none"> 【老朽管更新】 <ul style="list-style-type: none"> ・更新周期を超えた老朽配水支管を計画的に更新 (φ50 ～ φ200 L = 2,040 m) 【重要施設向け配水管の耐震化】 行政機関1施設 医療機関3施設 <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点となる行政機関や医療機関への配水支管を優先的に耐震化 (φ50 ～ φ200 L = 985 m) ○ 配水管の移設・整備 4,844,400 <ul style="list-style-type: none"> ・他工事の支障となる配水管の移設 ・配水管の整備 ・新規の給水要望に対する配水管の布設 <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">参考 <u>管路施設に対する事業費 合計 8,305,173</u></p>

(単位:千円)

目指す方向性	事業・取組名	事業費	取組内容	
強靱	安定取水の確保	30,118	○ 塩水遡上などの取水リスクへの対応 ・阿賀用水路止水設備設置工事負担金 (阿賀野川浄水場)他	30,118
持続	効果的で分かりやすい広報の実施	22,390	○ 広報活動の実施 ・広報紙「水先案内」の発行 ・お客さま参加型・体験型の広報活動の実施	22,390
	お客さまの意見・要望の把握	3,409	○ お客さまアンケート調査の実施	2,990
			○ 水道モニター制度の運用	419
	人材の確保と育成、専門性の強化	7,332	○ 各種研修等の実施	7,332
浄水発生土有効利用の促進	173,371	○ 浄水汚泥(200Bq/kg以下)の有効利用	173,371	
健全	デジタル技術の導入による効果的かつ効率的な事業運営の実現	141	○ スマートメーターの導入に向けた機能評価及び試行運用の実施	141